



LIONS CLUBS INTERNATIONAL DISTRICT 334-A

ICHINOMIYA LIONS CLUB

# 一宮ライオンズクラブ

国際会長スローガン 「ウィ・サーブ」

一宮LCスローガン 「健全な心と身体、感謝の気持ちで <sup>からだ</sup> ウィ・サーブ」

第 1475 回例会

2017~2018

No.18

## 例会プログラム

と き 平成30年3月28日(水) 12:15

ところ 一宮商工会議所 3F

例会担当 青少年教育委員会

開会のゴング

国旗に礼

国歌「君が代」斉唱

「ライオンズ・ヒム」斉唱

「ライオンズの誓い」唱和

「クラブスローガン」唱和

会長挨拶

各委員会報告

幹事報告

会員スピーチの時間

アテンダンス報告

テールツイスター報告

「また会う日まで」斉唱

ライオンズローア

閉会のゴング



## 次の理事会 (第19回)

と き 平成30年4月11日(水) 11:00

ところ ルージュブラン

## 花見例会 (第1476回)

と き 平成30年4月11日(水) 12:15

ところ ルージュブラン

## 会員スピーチ

おおしまもとよし

**L 大島基睦** (2017年7月入会)

おかもとまさし

**L 岡本将嗣** (2017年7月入会)

かとう つとむ

**L 加藤 努** (2017年7月入会)

## 第 17 回理事会報告

と き 平成30年3月14日(水) 11:00

ところ ザ・グランドティアラー一宮

出席者

L 伊藤 L 野村(政) L 五藤 L 佐藤(彰) L 立川

L 野寄 L 杉山 L 西尾 L 川合 L 中沢

L 大山 L 佐藤(正) L 坂本 L 田中(幸) L 青山

L 山中 L 松山 L 中川 L 田中(秀) L 小川

L 高橋 L 御子柴 L 吉田(憲)

議 題

### 1. 3R 第3回 YCE 委員会 (3/5) 報告

LCIF・国際関係・YCE 委員長 L 吉田憲司より

①2019年夏期一宮 LC 受入予定(受入回数8回目)

②次年度は年会費を2500円から3000円に増額。  
理事会にて承認された。

### 2. 第11回愛西LCチャリティゴルフ大会 (3/12) 報告

親睦委員長 L 中川幸男より

237名の参加があった。

当クラブより8名参加。L 大山・L 伊藤・L 青山・  
L 杉山・L 野村政・L 中川・L 小川・L 大島基

### 3. その他

①春季ティーボール大会(3/17・21)について  
決勝戦3/21(水) 11:30集合

②真清田神社 桃花祭(4/3)について

第一副会長L五藤一樹と副幹事1野寄 章出席。

③一宮LC・尾西LC・愛西LC 合同親睦ゴルフ大会(4/5)  
について  
25名出席予定。

## 第 1474 回例会報告

と き 平成 30 年 3 月 14 日(水)12:15

と ころ ザ・グランドティアラー宮

- ④7LC 合同親睦ゴルフ大会(4月12日)について  
26名出席予定。
- ⑤ともいき・宇宙の子供たちボウリング大会(4/28)について  
アソビックス11時集合。懇親会は魚辻。
- ⑥水ロケット教室(5/4)・水ロケット大会(5/5)について  
今年の担当は一宮サウスLC。
- ⑦最終親睦旅行(5/16~18)について
- ⑧家族会員について
- ⑨5/20 ユニファイドリレートーチャレンについて  
南部中学校と中部中学校にも参加依頼する。
- ⑩一宮LC内規変更について  
30年・35年・40年永年会員について検討。
- ⑪稲沢LCスピーカー依頼について  
L野村政司とL佐藤 彰が出席する。



スピーカー 北東通信建設(株)代表取締役 荒井宣善様

今回の例会はPR例会でしたので、一宮青年会議所の坂井田純子筆頭副理事長様を始め 9 名のお客様を招いての例会になりました。

開会ゴングの後に国家『君が代』・『ライオンズクラブ歌』を斉唱し、『ライオンズの誓い、クラブスローガン』の唱和の先導を担当委員長の私がさせて頂きました。

L伊藤裕彦より会長挨拶が行われ、L土本和佳の入会式が行われ新たなメンバーが誕生しました。

100 周年記念会員増強賞、会員満足度向上アワード、会員キー賞、などの各賞表彰(例会報参照)が行われました。

引き続き本日のスピーカーである北東通信建設(株)の代表取締役荒井宣善様のスピーカーのお時間になりました。ご趣味である自転車のお話や携帯電話端末機の日本市場の情勢や最近の翻訳機の動向など分かりやすくまた幅広くお話しされました。



アテンダンス報告をL村橋福一郎がされ、テールツイスター報告をL川合充恭よりされました。

『また会う日まで』の斉唱後、新会員のL土本和佳のスポンサーのL尾上幸正による声高らかなライオンズローアの発声・閉会のゴングへと進み無事に例会は終了しました。



▲100 周年記念会員増強賞 受賞者

## 会員投稿欄

### 賽銭箱(募金箱)

スペシャルオリンピックスの募金箱が各テーブルに置かれています。

メンバー誰もが温かい気持ちで献金をする。少額と言えども多勢でのそれは多額になるであろう。

左どなりのL原田豊子は一万円札しか持ち合わせがないのでお釣りを希望した。

右どなりの真清田神社のL楠田 晴明は賽銭は音がしないものがないと千円札を献金した。

私は賽銭の世界においては、硬貨と決めているのに・・・。



大島八重子

### HARAKEN SERVICE

(株)原建サービス  
一宮市丹陽町外崎字久古 491  
TEL (0586) 64-7877  
L 原 竜也

harada  
Gases-Industrial & Medical

(株)原田商店  
一宮市千秋町加納馬場  
高須 54-1  
TEL 77-1802  
L 原田 豊子

## 第17回春季ティーボール大会

と き 平成30年3月17日(祝)9:00・24日(土)11:30  
 ところ 大野極楽寺公園野球場

堤防に桜が綺麗に咲いていく中、今年も春季ティーボール大会が開催されました。

17日に予選が行われ、勝ち抜いた8チームによる決勝トーナメントが24日に元気いっぱいに行われ、決勝戦は神山Aチームと千秋Aチームの戦いになりました。

大接戦の末、神山Aチームが序盤の大量得点を守り切り、14-12で優勝を決めました。

ティーボールは、まだ小学校低学年の子供達とお母さんが一緒にプレーするもので、野球を通じて親子の触れ合い、コミュニケーションも出来る、とても素晴らしい競技と感じました。

また今回も(?)悪天候により日程の延期があり大変ご迷惑をお掛けし、申し訳ありませんでした。

参加していただいた皆様、ありがとうございました。

### <決勝戦参加者>

L 伊藤裕彦 L 立川智浩 L 大山恭範 L 坂本 毅  
 L 野村政司 L 石黒 薫 L 山中一史 L 東 宏拓  
 L 西尾建一郎 L 高橋 敬

青少年教育委員長 高橋 敬



優勝 神山Aチーム

## 第1474回例会アテンダンス報告

会員数 185名 家族会員 85名  
 例会出席対象会員数 100名  
 出席者 58名 (メーク・アップ 0名)  
 出席率 58%

## 第1474回例会ドネーション・ファイナ

		合計	55,000
◎ドネーション			56,000
L 伊藤裕彦	9名のお客様と荒井宣善様をお迎えできた		10,000
L 立川智浩	"		5,000
L 五藤一樹	9名のお客様と荒井宣善様をお迎えできた		5,000
L 森 雅也	例会場ご利用お礼		5,000
L 杉山幸紀夫	ゲストをお迎えで出来た		3,000
L 野寄 章	平野様をお迎えできた		3,000
3月誕生8名	誕生 祝		24,000
◎ファイナ			0
ドネーション・ファイナ累計			1,263,100

## (株)昇栄化成

一宮市西萩原字若宮前72  
 TEL (0586) 52-5915

L 日 沖 昇 市

フ  
ロ  
ー  
リ  
ス  
ト  
は  
な  
し  
ん

こころにとどく  
**花キュービット**  
 一宮市今伊勢町本神戸中道13の2  
 TEL0586-72-8624  
 FAX0586-72-8861  
 L 平 光 昌 彦

## 企画から印刷まで 三井堂株式会社

一宮市浅野白山16 ☎ 77-2481  
 名古屋市西区城西1-11-24 ☎ 052-532-1501

L 松 本 史 郎

物流機器メンテナンス

## 株式会社 サンメカニック

一宮市木曾川町黒田中野黒239-1  
 ☎ 87-5311

L 松 山 栄



## LCIF ニュースレター

### スペシャルオリンピックスとのパートナーシップ

#### 《オープニング・アイズ》

調査によれば、スペシャルオリンピックス選手の68パーセントが3年間に一度も目の検査を受けておらず、37パーセントが眼鏡を必要とし、18パーセントが臨床的に不適切な眼鏡をかけています。眼科医療に関しては、障害者の大半が十分な治療を受けていません。障害者はそれぞれのニーズに合った質の高い医療を受けるべきであり、受けて当然なのです。

そのため、LCIFは2001年からスペシャルオリンピックスと提携し、世界各地で行われるスペシャルオリンピックスの競技会で無料の視力検査を実施しています。また選手たちは、視力障害の診断、矯正・保護用の眼鏡の提供、目を適切にケアする方法に関する指導も受けています。

スペシャルオリンピックスとライオンズクラブ国際協会の共同事業、オープニング・アイズ・プログラムを成功に導いているのは、数千人に及ぶライオンズのボランティア、医師、視力専門家、そして教育者たちです。これまでに370,050人余りの選手たちが検査を受け、161,000人に処方眼鏡が提供されました。

このパートナーシップが始まってから、LCIFが提供した交付金は2,300万ドルに達しています。



#### 《ミッション：インクルージョン》

LCIFとスペシャルオリンピックスの長期にわたるパートナーシップは最近、視力検査や処方眼鏡の提供を超えて拡大されました。この5年間の拡大事業は「ミッション：インクルージョン」と呼ばれ、知的障害者が各地域社会に受け入れられるよう支援するプログラムを生み出しています。

この拡大パートナーシップではレオが重要な役割を担っており、それは「ユニファイドスポーツ®」として知られるスペシャルオリンピックスのプログラムを中心とするものです。スペシャルオリンピックスの選手とチームを組んでさまざまなスポーツを練習し、競い合うことにより、レオは模範を示しているのです。レオと選手はともに体力を高め、スキルを磨き、受容と共生の価値を学んでいます。ユニファイドスポーツの目標は、スペシャルオリンピックスの選手とそのパートナーに同等の能力を発揮させ、チームとしての練習と競技を通して共生を推進することです。

知的障害者には核となる才能や能力があり、彼らはそれを地域のために役立てたいと願っています。スペシャルオリンピックスとライオンズクラブ国際協会は、そのことを示すために尽力し続けます。競技場の内外を問わず、スペシャルオリンピックスの選手とレオは、引き続きチームを組んで共生社会を築いていきます。